



平成 29 年 5 月 1 日

各 位

東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号
コムチュア株式会社
代表取締役会長 向 浩一
(コード番号：3844 東証第一部)
問い合わせ先 取締役 太田好彦
電話番号 03-5745-9700

中期経営計画の策定について (2017年4月1日 ~ 2020年3月31日)

コムチュア株式会社(東京都品川区 代表取締役会長 向 浩一)は、情報サービス産業を取り巻く事業環境の変化を踏まえ、この度グループの2020年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の狙い

我が国経済は、企業業績の回復や雇用・所得の改善が進む一方、米国の政策運営の変化や欧州の政治情勢などの影響により先行き不透明な状況となっております。当社グループの事業に影響を及ぼすIT投資については、中長期的な企業成長には不可欠なものであることから、クラウドサービスを中心に拡大が継続しています。

当社グループでは、クラウドビジネスを中心に、ビッグデータ・AI・IoT(モノのインターネット)、そしてフィンテック等の新たなITの潮流に積極的に取り組んでまいります。

クラウドを核とした4つの事業分野(グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業、及びネットワークサービス事業)における得意分野の強みに加え、上記の新たな分野も含めた事業強化を図っていきます。

これらによって既存顧客での取引拡大と新規ユーザー層の開拓を成し遂げ、受注および売上の拡大につなげ、高付加価値化、生産性の向上に取り組んでいくことで収益率の維持向上も含めた継続的な成長を目指していきます。

このような取組みを基にして、当社グループは持続的な成長を目指し、2017年度を初年度とする新しい「中期経営計画」を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

【計画期間】

2017年4月から2020年3月までの3カ年

【経営理念】

お客様には“感動”を、社員には“夢”を

【経営ビジョン】

クラウド・ビッグデータ・AI・IoT・フィンテックで未来をリードするコムチュア

【経営戦略】

『成長戦略』

クラウド関連事業を軸に、ビッグデータ・AI・IoTやフィンテックなどを新しい成長エンジンとして、新たな価値創出に取り組むとともに、当社の強みである高付加価値化経営の更なる深掘りにより、成長を持続します。

『顧客戦略』

中期目標を牽引する成長領域のキーアカウントを定め、提案力を強化する事で、お客様満足度を向上させ、主要顧客との取引拡大と新規優良顧客の開拓に努めてまいります。

『人材戦略』

顧客ニーズに対応できる優秀な人材を新卒・中途採用で確保し、提案力・技術力を高める育成を進めると同時に、ビッグデータ・AI・IoT・フィンテックなどの高度な先端技術を有する人材の育成プログラムを組むことで、当社グループの高い成長を担える集団を創ります。

『イノベーション戦略』

新たな価値の創出を目指した研究開発に積極的に投資をするとともに、産学連携により将来のビジネス領域へ知見を高め、業界をリードする新技術・新サービスの開発に取り組んでまいります。

『品質戦略』

プロジェクト管理の精緻化および品質、工程と原価の可視化を進めることで、プロジェクト課題への先手対策でサービス品質の向上と、お客様の満足度改善の活動を展開します。

『財務戦略』

ROEを経営の中核指標とし、長期的に資本効率を意識した価値創造企業であり続けます。また、当社グループの主要KPIを明確化し業績管理の可視化によって、安定した健全成長を基調とする会社を目指します。

『提携戦略』

相乗効果を前提におきながら、クラウド・ビッグデータなどの成長事業領域への展開強化を狙った業務提携とM&Aに積極的に取り組み、成長スピードを加速させます。

これらの取り組みで、売上高は年率二桁の高成長を続け、利益についても売上高の伸びと同等もしくはそれ以上の伸びを目指します。

【業績目標】

年度	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (計画)	2020年 3月期 (計画)	年平均 成長率 (2017年3月期～ 2020年3月期)
売上高 (百万円)	13,897	15,300	19,000	11%
営業利益 (百万円)	1,522	1,700	2,100	11%
営業利益率 (%)	11.0%	11.1%	11.1%	-

【利益還元方針】

コムチュアグループは、「クラウド・ビッグデータ・AI・IoT・フィンテックで未来をリードするコムチュア」を旗印に、積極的な事業展開と戦略投資を行い、企業価値の持続的向上を図ってまいります。利益還元につきましては、株式の流動性の向上を図るとともに、引き続き積極的な利益配分を基本方針とし、配当性向35%以上の継続を目標といたします。

以上

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。